

地域の環境や資源を守る活動で児童の郷土愛を育む

文部科学大臣賞 岩手県 洋野町立宿戸小学校

世界三大漁場のひとつである三陸の豊かな海を臨む同校では、よりよい環境づくりや地域の資源を活かした取り組みが行われている。平成12年から始まった「アルミ缶回収活動」は、環境保全を身近な問題として捉えるために、児童会のボランティア委員会の企画・運営により継続して実施。回収日は毎月1回、児童が各家庭から持ち寄ったアルミ缶を回収して業者に買い取り委託、そこで得た資金はユニセフや社会福祉協議会に全額寄付している。

そうした児童の自主的な活動は地域住民にも伝わり、現在では、自宅にためておいたアルミ缶を台車などで学校に持参する住民の姿も見られるなど、活動の輪が広がっている。合わせて、学校周辺や海岸を清掃する「ごみ0運動」も展開することで、住民の協力を得ながら自分たちの地域を自分たちの手で守っていくという強い思いが育っている。児童は、感謝の意を込めて、秋の学習発表会に地域住民を招待。毎年立ち見が出るほどの盛況ぶりで、美化活動を通じた活発な交流が、まちづくりの一助となっている。

さらに、地域の貴重な資源を守るために積極的に取り組んでいるのが、特産物のウニを育てるための活動だ。児童は、町が主催する「ウニの森づくり植樹祭」に7年前から参加。ウニの生育に必要な栄養分を山から海に送り、良質なウニを育てる活動で、これまでに広葉樹を計約8300本、計2.6ヘクタールを植樹した。ウニ漁業を営み、同校で行う「水産教室」の講師を務める吹切守^{かつきり}さんは、「地域の環境や資源を守る活動に取り組んだ卒業生たちが最近、漁業の後継者になって活躍し始めた。長年の取り組みの成果だと思い、素直にうれしい」と目を細める。身の回りの環境美化活動を契機とした地域住民とのつながりや、地域の特性を生かした取り組みが、児童の郷土愛を育てている。

岩手県洋野町立宿戸小学校

学校長：安倍（あんばい） 初雄

生徒数：133名(2013年11月末現在)・全8学級

住所：岩手県九戸郡洋野町種市7-117-8

電話：0194-65-4001

アクセス：JR「宿戸駅」より徒歩3分



写真上：月1回、授業前にアルミ缶回収を行う児童たち、写真中：地域の人と一緒にゴミ0運動を実践中、写真下：ウニの森づくり植樹祭でクワを持って広葉樹を植える、写真下左：地域の漁師の指導でウニ獲り体験、写真下右：ウニについて学ぶ水産教室